

I 学校の概要

1 所在地 見附市田井町 306 番地

2 学校の沿革

- 明治 6 椿沢村椿沢寺にて開校の伝あり
7. 9.13 田井村福順寺にて仮開校 その後椿沢村弘法院に移転
8. 7.13 本開校 古志郡明晶村第 16 番小学校明晶校第 1 附属田井校
25. 4 新潟県古志郡村立田井尋常小学校となる 補習科を置く
40. 4 高等科を併置 田井尋常高等小学校と改称
42. 10 田井町 1713 に校舎新築移転
大正 12. 7 創立 50 周年式典挙行
昭和 3. 11 校舎増築 校旗樹立
16. 4 古志郡田井国民学校と改称
22. 4 古志郡北谷村立田井小学校と改称 北谷中学校田井分校を併置
23. 7 P T A 発足
25. 7 創立 77 周年 校歌が制定される
29. 1 市制施行により見附市立田井小学校と改称
32. 12 子ども農協優良校として大蔵大臣、日本銀行より表彰を受ける。
33. 6 新校舎落成
36. 10 給食室竣工 完全給食開始
48. 10 百周年記念式典挙行
50. 4 百周年記念碑建立
53. 7 「働くよろこび」の像建立
55. 1 学校給食センターによる給食を開始。
58. 9 まごころ養護学校と交流教育開始
61. 1 新校舎用敷地確保 見附市田井町 306 番地
平成 4. 7 新校舎建築工事開始
5. 3 新校舎教室棟工事完了
5. 7 新体育館工事完了
5. 10 新グラウンド・プール工事完了
7. 11 三南学視研研究発表会開催
12. 12 飼育小屋の新築設置
16. 7.13 集中豪雨 給食後、保護者引き渡して下校・避難所開設
16. 10.23 中越地震発生 校舎周辺陥没・液状化現象・避難所開設
17. 4. 1 国際交流英語ルーム新設
18. 10.28 学習発表会で見附太鼓を演奏。「和」を合言葉に学校運営を開始
19. 10.20 学習発表会で稚児舞を発表。
20. 7.10 田井虹のかけはし隊発足。図書館環境整備開始
21. 4. 1 田井っ子学童クラブ開設
22. 6. 9 グラウンド芝生化 (1,000 m²)
22. 9.16 太陽光発電通電式
22. 10. 3 北谷南部ふるさとセンターオープン記念祭
22. 11.15 ユネスコスクール

- 23. 3.11 東日本大震災発生
- 23. 5.22 小学校と北谷南部コミュニティ共催の大運動会開催（雨天により体育館）
- 23. 6.11 グラウンド芝生化増設（300 m²）
- 23. 6.22 教務室と2階教室に扇風機設置
- 23. 7.30 中越地方に豪雨。避難勧告発令されるが被害なし
- 23. 7.24 みつば太鼓披露（見附祭りにて）
- 23. 11. 7 優れた「地域による学校支援活動」で文部科学大臣表彰受賞
- 23. 12.22 文部科学大臣表彰を祝う会
- 24. 6.27～29 福島県伊達市立富野小学校移動教室受け入れ
- 25. 10.30 第7回高橋松之助記念「朝の読書大賞」受賞
- 26. 7～9 体育館天井耐震工事
- 26. 7.29 みつばの森作業（シート撤去）
- 26. 9.24 グラウンドに鉄棒新設
- 26. 10.25 みつばの森作業（植樹）
- 27. 7.20 みつばの森作業（除草）
- 27. 10.24 みつばの森作業（植樹）
- 28. 7.23 みつばの森作業（除草）
- 28. 7～9 体育館南側外壁工事
- 28. 10.22 みつばの森植樹終了。看板完成
- 29. 1.14 「全国健康づくり推進学校」優良賞受賞
- 29. 7.22 みつばの森作業（除草）
- 29. 10. 1 「みつけお花いっぱいコンテスト 学校お花いっぱいの部」優秀賞受賞
- 29. 12. 7 「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰
- 30. 7.21 みつばの森作業（除草）
- 30. 8.21 新潟県ドクターヘリ事業に係る離着陸場所（ランデブーポイント）に登録
- 令和 元. 4～7 普通教室・音楽室エアコン工事
 - 2. 3.2～24
 - 4.25～5.10 新型コロナウイルス感染防止に向けた政府の小・中・高・特別支援学校等への一斉休業要請を受け、臨時休校
 - 3. 9.25 みつばの森 下枝うち作業
 - 3. 11.16 体育館カーテン補修工事
 - 4. 6. 9 ランチルーム排煙窓修繕
 - 4. 8.17 配膳室牛乳保冷库入れ替え作業
 - 4. 8.29 校舎等及び体育館棟外壁・屋根防水改修工事（～R5.1.20）
 - 4. 9.20 台風14号に伴う臨時休校
 - 4. 11.22 体育館排煙窓修繕
 - 5. 1.25 大雪に伴う臨時休校

3 学区の概要

学区は、見附市の南端に位置し、長岡市に接している。越後平野に広がる豊かな水田地帯の椿澤・田井・枿栄・山崎・耳取・鳥屋脇の6町内からなる。兼業農家が多く、また、地元企業の他、市外への通勤者も多い。三世帯同居の家庭が多く、祖父母の子どもたちへの影響力は大きい。

明治時代より補習科、裁縫科、高等科の設置を見、また、校舎の新增築、同窓会によるピアノ

の寄贈、学校林の購入・植林など学区民の学校に寄せる期待と関心は深い。

平成16年は、7月13日に集中豪雨、11月23日に中越大地震、と相次いで大災害に見舞われた。学校は、地域住民から支えていただきながら、復興を遂げている。

平成22年に学校体育館下に「北谷南部みつばコミュニティ」が開設され、学校と地域との一体感が増した。

平成23年には、小学校と北谷南部みつばコミュニティ共催の大運動会を開催した。そして、これまでの学校支援地域本部事業の功績が認められて、優れた「地域による学校支援活動」で文部科学大臣表彰を受賞した。

平成25年には、田井虹のかけはし隊など地域とともに読書活動を推進したことが認められ「第7回 高橋松之助記念 朝の読書大賞」を受賞した。東京での授賞式に虹のかけはし隊とともに出席し、BSNやNHK等のTVに放映された。

平成26年には、県の「学校のみどり創出モデル事業」(3年計画)の初年度として、推進協議会を立ち上げ、全校によるドングリ植えや予定地への植樹を行った。

平成27年度は、隣接のみつばコミュニティ創設5年目を記念して、10月に「みつばふれあい祭り」と称して、学習発表会と地域敬老会を合同で開催した。また、地域との「ふれあい給食」や卒業式の「地域席」新設など、地域連携を深め、市から「みつば一番星☆事業」の補助対象となった。

平成28年度は、「学校のみどりの創出モデル事業」の最終年となり、植樹が終了した。記念の看板も設置した。

平成29年度は、地域と学校の連携・協働の功績が認められて、「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞した。

令和元年度は、地域と学校の連携・協働による環境保全活動が認められ、「新潟県環境賞」(地球温暖化部門)を受賞した。

4 校地・校舎

- | | |
|-----------|--|
| (1) 校地総面積 | 14,380 m ² |
| (2) 屋外運動場 | 8,640 m ² (内 1,300 m ² が芝生化) |
| (3) 体育館 | 680 m ² |
| (4) 普通教室 | 49.4 m ² (各教室) |
| (5) 特別教室 | 理科室・理科準備室 家庭科室・家庭科準備室 音楽室・音楽準備室
図工室・図工準備室 図書室 視聴覚室 保健室 ランチルーム |
| (6) その他 | 校長室・会議室 職員室 相談室 放送室 ピロティ
学童クラブルーム |
| (7) プール | 本体 プールサイド 循環濾過装置など |

5 学区 (R5. 4. 1 現在)

- | | |
|---------|--------------------|
| (1) 人口 | 1,066 人 |
| (2) 世帯数 | 432 世帯 |
| (3) 町内 | 椿澤 田井 枋栄 山崎 耳取 鳥屋脇 |